

I 法人の理念と運営方針

社会福祉法人サンフレンズの理念と事業の運営方針は、次のとおりです。
この理念と運営方針は毎年度の事業方針と計画の基本となるものです。

1. サンフレンズの理念

- (1) できるだけ自由に
 - ・・・ 画一的、管理的にならず、一人ひとりがその人らしく生きられる。
- (2) どこまでも対等に
 - ・・・ 一人ひとりの人権を尊重し、すべての人が上下関係でなくつきあえる。
- (3) 他者への思いを生かし合う
 - ・・・ 地域社会でともに生きる人々との連携、地球環境、平和への願いを大切にする。

2. サンフレンズの運営方針

- (1) 利用者のプライバシーと自立を尊重し、自己実現を助けることを一人ひとりの立場に立って行います。
- (2) 利用者、家族、ボランティア、職員、理事などがお互いの立場を尊重し、民主的運営を行います。
- (3) 他のグループや世代間の交流を図り、生活の質を高め、地域の福祉文化の拠点となることをめざします。

Ⅱ 2015年度 法人全体の重点目標

1. 視点

昨年度は2年続いた大幅な赤字状態を改善するために予算作成の段階から収支を精査し黒字転換を果たすことができました。

しかし、その内訳としては収入が目標に到達できなかった以上に支出の大きな割合を占める人件費の抑制が大きい要素でした。

収入については、特養入居者の重度化に伴う入院や退所の増加によるベッドコントロールが追い付いていない状況、通所介護事業所の増加に伴う利用者獲得が難しくなっている状況が影響を及ぼしています。

支出については、予算作成の段階で職員の処遇面に手をつけなければなりません。更に年度途中において人員配置の大幅な見なおしを行いました。

2015年度の介護保険制度改正により介護報酬の大幅減収が決まり、社会福祉法人に対しての国の見方もより厳しくなってくることを考えられます。

当法人が今後の地域において存続していくためには職員一人一人が利用率や収支のことを意識しつつ、限られた人員配置で最大限のサービスを提供していくよう創意工夫に努めてもらわなければなりません。

また、法人としては職員が安定した収入を得られ、やりがいを持って働くことができる職場環境と処遇改善をする義務があります。

以上のように厳しい法人経営が求められている状況ではありますが社会福祉法人の在り方も同時に問われている状況にあります。株式会社等の他の経営主体と異なる役割を果たしていることが地域住民等にご理解頂けるよう既に実施していることは発信をしていくとともに、他の経営主体で担うことが必ずしも期待できない福祉サービスを積極的に実施・開拓していく必要があります。

今年度は、法人の健全経営、地域貢献、利用者サービスの向上、人材確保を主要な視点とし、以下の重点目標を定めました。

2. 年間の重点目標

- (1) 健全経営
- (2) 地域貢献
- (3) 利用者サービスの向上
- (4) 人材確保

Ⅲ 事業所別事業計画

特別養護老人ホーム上井草園

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	特養稼働率97%以上 短期入所稼働率120%以上	①空床を作らない特養待機者への継続的新規訪問の実施 ②短期入所希望者のコンスタントな新規訪問
	②	職員研修の充実(学びあう)	①職員の接遇の向上 ②介護技術の向上 ③食事サービスの充実 ④リスクマネジメント ⑤記録について
地域貢献	①	家族・地域に向けた、介護者教室の開催	①地域の身近な介護相談窓口機能の構築 ②顔の見える関係作りの構築
	②	実習生の受け入れ	①福祉人材の育成（社会福祉士・介護福祉士・職場体験他）
利用者の向上	①	その人らしきの実現	①不適切ケアを失くす ②いいねプロジェクトの発展
	②	リハビリテーション・アクティビティの充実	①生活リハビリ実施率向上及び内容の充実 ②外出・外食(外注含む)機会を設ける。
人材確保	①	職員面接の実施	①常勤面接の実施(4回/年) ②非常勤面接の実施(2回/年)
	②	新卒学生の確保	就職フェアへの参加

上井草ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	利用率向上	① 月～土曜利用人数 44 人/日 ② 日曜 利用人数 9 人
地域貢献	①	ボランティア受入れ	述べ人数 150 人/月
	②	地域の小中学校 体験実習受入れ	中学校職場体験 ボランティア体験受入れ 5 校

利用者サービスの向上	①	情報発信	①モニタリング 30名実施
	②	外出機会の提供	季節毎、誕生月にグループで外出
	③	個別サービスの提供	機能訓練 15人/日入浴 20人/日
人材確保	①	職員研修	外部研修年1回以上/人
	②	職員研修	事業所内研修 隔月1回 実施

サンフレンズ上井草支援センター

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	適正件数到達	1. 月請求件数 173 件 2. 支援困難事例の事例検討 3. 紹介依頼行動
	②	特例事業所加算Ⅲ運営	1. 法令の会議・書式 2. 帳票類の整理・保管 3. 労務管理
地域貢献	①	地域活動への参加	1. 清掃活動 2. 職場内清掃
	②	地域連携	1. 地域包括ケア推進会議 2. 区ケアマネ協議会運営委員会 3. 主任ケアマネ会議 4. 上井草園内連携
利用者の向上	①	ケアマネルーチン業務の実践	1. ケアマネジメントルーチン継続 2. 苦情相談
	②	制度改正の理解と適切利用	1. 制度研修 2. 制度資料・Q&A 等関連制度資料整理
人材確保	①	業務掌握と健康管理	1. 安全衛生会議 2. 防災 3. 感染 4. オンブズマン 5. オンブズマン委員会
	②	研修計画立案と実施、実習生受入れ体制確保	1. 研修計画立案と実施 2. 実習生受入

地域包括支援センターケア24上井草

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	実績収入の最大限の確保	①実態把握:690件/年 ②新予防マネジメント:15件/年 ③予防給付:190件/月 ④家族介護教室:7回/年
	②	超過勤務の削減	それぞれの職員が前年度よりも削減することができる。
地域貢献	①	上井草サポーターズ倶楽部の継続 (認知症への取り組み)	①認知症サポーター養成講座の開催(120人/年の受講) ②講座修了者のフォローアップ(人材育成) ③居場所づくりの検討
	②	出前相談会の継続	①井草3丁目区営集会所(1回/2~3カ月:自主化の検討) ②上井草1丁目区営集会所(3回程度/年)
利用者の向上	①	地域課題の把握	①地域ケア会議での課題把握(4回/年)
	②	ケア24活動の広報・周知	①ケア24上井草だよりの発行(4回/年) ②地域コム、法人HP活用(毎月更新)
	③	サービス事業者交流会	毎月15日前後にサービス職種別に交流会を実施
人材確保	①	新任職員の育成	①研修参加 ②法人内連絡会の実施

サンフレンズ善福寺

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	利用率向上	①特養1日30床中29床以上 ②ショートステイ1週間28床中27床以上 ③ショートステイ午前退所・午後入所移行
	②	生活相談員、介護支援専門員、施設長の役割を決めて、サンフレンズ善福寺の組織を確立する	・介護職兼相談員の役割確定 ・相談員件介護支援専門員の役割確定 ・事務員の役割確定 ・施設長の役割確定
	③	支出の適正化	① 護職員16名(常勤換算)での事業実施
地域貢献	①	地域への発信	①家族、ボランティア、地域の方が参加できる事業所内研修の実施

	②	実習生・ボランティアの受入	①社会福祉士実習生の受け入れ ②介護福祉士実習生の受け入れ ③介護福祉士実習指導者の養成
	③	地域活動の開催と参加	①自治会との防災協定締結 ②震災救援所訓練への参加 ③善福寺サロンの開催(月1回)
利用者の向上 サービスの向上	①	介護の質の標準化	①アセスメントに基づくケアプランを適宜作成し(基本は年1回)家族を含めたカンファレンスを実施する。
	②	職員研修	①外部研修への参加 ①内部研修の実施(毎月1回)
人材確保	①	職員研修	①外部研修への参加 ※キャリア形成に配慮
			①内部研修の実施(毎月1回)
	②	就職セミナーへの参加	外部で行われる就職セミナーへ介護職員を随時派遣する

地域包括支援センターケア24善福寺

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	最大限の実績収入確保	①予防給付月 200 件 (自主 145 件・委託 55 件) ②実態把握年 690 件 ③新予防プラン年 15 件 ④家族介護教室年 7 回
	②	超過勤務削減	毎月の超過勤務を 職員 1 名につき 3 時間以内に抑える。
地域貢献	①	地域発信型介護予防事業 (地域の居場所とつながる)	①かがやきサロン ②善福寺サロン ③地域で安心サロン ④西荻北きずなサロン ⑤けやきの見える家 ⑥活動の広報・サロンマップ 情報更新(ケアたより)
	②	地域の担い手発掘	ご近所ささえあい講座 企画・実施
サービスの向上	①	事業所環境整備	事業所移転

	②	地域ニーズ・地域課題の把握	①要支援者のニーズ把握 ②地域住民へのアンケート調査実施 ③地域ケア会議での課題把握(年4回以上)
確保人材	①	新任職員の育成	①～③研修参加 ④法人連絡会の実施

永福ふれあいの家(一般デイ)

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	利用率の安定	① 1日平均40名の来所。 ② 各職員への利用率の共有 ③ 入浴体制の整備
	②	法令に順守した運営	① 通所介護計画書・モニタリングアセスメントの更新の徹底 ② 帳票類の整理・保管方法の確認
地域貢献	①	地域活動への参加	① 地域支援事業への協力 ② 家族介護者教室の実施 ③ 家族懇談会の開催
	②	学生の受け入れ	① 永福学園現場実習(福祉課・清掃課) ② 明治大学ボランティア講座 ③ 教員免許介護等体験 ④ 中学生職場体験
	③	短期集中予防サービス開始	① 事業開始準備 ② 事業の安定した運営
利用者のサービスの向上	①	個別のニーズに応じた活動環境の整備	①主体性を持って活動できる環境づくり ②毎月1回新しいレクリエーションを増やす。
	②	季節を感じられる年間行事の提案	①季節感の感じられる行事(マニュアル整備) ②年1回の外食
人材確保	①	労働環境	① 業務の効率化(無駄をなくす) ② 業務分担の明確化及び評価
	②	職員研修	① 月に1回の研修の実施 ② 毎月の目標設定と評価

永福ふれあいの家(認知症対応型デイ)

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全 経営	①	利用率の安定	③ 1日平均7名の来所。 ④ 各職員への利用率の共有 ⑤ 入浴体制の整備
	②	法令に順守した運営	① 通所介護計画書・モニタリングアセスメントの更新の徹底 ② 帳票類の整理・保管方法の確認
地域 貢献	①	地域活動への参加	③ 地域支援事業への協力 ④ 家族介護者教室の実施 ⑤ 家族懇談会の開催
	②	学生の受け入れ	④ 永福学園現場実習(福祉課・清掃課) ⑤ 明治大学ボランティア講座 ⑥ 教員免許介護等体験 ⑦ 中学生職場体験
利用者 サービスの 向上	①	調理・園芸等、日常生活に則したケアの提供・活性化	① 目的や役割を作ることで、通所の継続を図る。 ② 外出をすることで季節を感じられるケアを提供
	②	個別性の高いケアの提供	プランニング・モニタリング・アセスメントの徹底。
人材 確保	①	労働環境	① 業務の効率化(無駄をなくす) ② 業務分担の明確化及び評価
	②	職員研修	① 月に1回の研修の実施 ② 毎月の目標設定と評価

松ノ木ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全 経営	①	安定した収入の確保	①1日平均25名以上の受け入れを行う。
地域 貢献	①	地域活動への参加と学生ボランティアの受け入れ、育成。	①地域活動への参加
	②		①学生ボランティアの受け入れと育成。 ②近隣ボランティアの受け入れ。

利用者サービスの向上	①	個別プログラムの充実	① 年間を通して季節を感じられるプログラムの実施 ② 個別プログラムの実施
	②	職員個々の地域活動への参加と学生ボランティアの受け入れ、育成。	職員各自のスキルや意欲に対して ①内部研修の実施。(勉強会) ②外部研修へ参加。
人材確保	①	労働環境の整備	職員が働きやすい環境を作る。 ①超過勤務の削減 ②一部の職員に業務が集中しないように業務分担を明確にする。
	②	職員の人材育成	職員各自のスキルや意欲に対して ①内部研修の実施。(勉強会) ②外部研修へ参加。

和泉ふれあいの家

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	安定した収入の確保	①1日平均27名以上の受け入れを行う。
	②	法令順守した経営の継続	①計画書類の整備
地域貢献	①	地域活動への参加と学生ボランティアの受け入れ、育成。	①地域住民との交流 ②介護者教室の開催
	②		①学生ボランティアの受け入れと育成。 ②近隣ボランティアの受け入れ。
利用サービスの向上	①	プログラムの充実	年間を通して季節を感じられるプログラムの実施
人材確保	①	労働環境の整備	職員が働きやすい環境を作る。 ①超過勤務の削減 ②公休、有給とも公平に取得できる環境づくり
	②	職員の人材育成	職員各自のスキルや意欲に対して ①内部研修の実施。(勉強会) ②外部研修へ参加。

和田ふれあいの家

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	安定した収入の確保	①1日平均 28.5 名以上の受け入れを目指す ②入浴者は1日 20 名を目指す
	②	法令に順守した運営	①通所介護計画書・モニタリングアセスメントの定期的更新
地域貢献	①	ボランティア、実習生等の受け入れ	①介護等体験の学生 ②近隣幼稚園との交流 ③ボランティアの受け入れ
	②	震災救援所運営協力	①定期会議、訓練への参加
利用者のサービスの向上	①	プログラムの充実	①認知症予防プログラムの実施とアロマの導入 ②体操に特化したプログラムの継続
	②	定期的な研修の開催	職員各自のスキルや意欲に対して ①内部研修の実施。(勉強会) ②外部研修へ参加。
人材確保	①	職員の人材育成	②外部研修へ参加。
	②	随時人員の確保に努める	①チラシの配布、口コミ等による人員募集 ②職員が疲弊しない職場環境作りの継続

サンフレンズ訪問介護センター

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	安定したサービスの確保	常勤会議 1 回/月
	②	法令に遵守した運営	① 訪問介護計画書モニタリングアセスメントの更新 ② 記録の整備
地域貢献	①	地域震災訓練協力	①地域震災訓練への参加
利用者のサービスの向上	①	訪問介護員等に対して利用者情報・留意事項伝達・技術指導を目的とした会議を開催する。	全体会議(個別ケース検討会含む)1回/月
	②	利用者情報やサービス提供時の留意事項を連絡票や提供記録等の書面により確実な方法で訪問介護員に伝達する。	報告内容を提供記録等の書面に記録

人材確保	①	訪問介護員の研修計画を策定し、実施する。	①内部研修(勉強会)の実施 ②外部研修へ参加
	②	訪問介護員の増員を図る。	①チラシの配布、口コミ等による人員募集 ②安全衛生委員会の定期開催 職場環境作りの継続

和田サービス付高齢者住宅・和田みどりの里

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	2016年度以降の和田拠点(和田ふれあいの家・サンフレンズ訪問介護センター・サービス付き高齢者住宅・和田みどりの里)の検討を進める。	・談話室等の使用内容の変更検討
	②	365日を通して日中(午前9時～午後5時まで)常駐し、居住者の日常生活を支援する。	・365日の安定した人員を配置置 ・2016年以降の計画に基づく配置の検討
地域貢献	①	談話室を拠点としたサロン活動を提案し、地域の方々との交流の機会を進める。	・談話室の地域利用
利用者サービスの向上	①	臨時的に発生する軽微な対応や相談支援を継続し、居住者の生活を支援する。	・管理室に(平日10時～12時)常駐 ・定期的建物巡回、居室訪問、事業者への修繕依頼、立会い
	②	付加サービスの充実を図り、居住者の生活を支援する。	・365日の食事サービスの提供
人材確保	①	緊急時や災害発生時に即応できる体制を整え、設備管理と操作の知識と居住者の安全確保等の技能を習得する。	・避難訓練の実施 ・非常通報の対応

サンフレンズ和田堀支援センター

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	適正件数 207 件をクリアしましょう。	①毎月の達成率96%以上を目標に頑張ります。

	②	特定事業所集中減算の適応を受けないよう中立性を確保しましょう。	①毎月特定事業所の割合が80%を越えないようにします。
地域貢献	①	地域ケア会議へ参加しましょう。	① ケア 24 永福地域ケア会議 ② ケア 24 方南地域ケア会議 ③ ケア 24 堀ノ内地域ケア会議 ④ ケア 24 和田地域ケア会議 ⑤ ケア 24 松ノ木地域ケア会議 ⑥ ケア 24 梅里地域ケア会議 ⑦ケア 24 成田地域ケア会議に積極的に参加します。
	②	ネットワークを活用しましょう。	①地域の情報を発信します。 ②介護者教室に参加させていただきます。
利用者の向上	①	アンケート調査の実施をしましょう。	地域ニーズと課題の把握と利用者満足度の追求します。
	②	質の高いケアマネジメントの追及をしましょう。	利用者の状況等に関する情報を職員が共有します。
人材確保	①	今いる人が働きやすい職場になるようにしましょう。	職員が共に支えあう事業所運営を構築します。(職員の満足度を追及します。)
	②	法人内でケアマネ希望者を募りましょう。	法人内でケアマネの育成をします。

法人事務局(経理・人事・総務担当)

施設目標	施設の具体的目標	指標・成果
健全経営	① 中長期にわたる財務計画を立案する。	(短期)法人の財務分析を行い、法人規模に適切な余裕財産額を明らかにする。 (長期)施設整備財産額、地域貢献事業に投資する財産額を計画し、中長期に渡っての財務計画を立案する。
	② 内部統制のための規則規程類の整備	(短期)職員が適切に業務を遂行するために現存の規則規程類の見直しと新たに作成が必要なものを洗い出す。 (長期)優先順位をつけて理事会のスケジュールにあわせて順次更新作成をしていく。
地域貢献	法人事務局地域福祉推進担当事業計画に準ずる	

利用者サービスの向上	①	設備保全計画の策定	(短期)施設設備の自己点検を行い、修繕計画を立案する。 (長期)施設設備の経年劣化によるサービス運営への影響を最小限に抑えるため、設備保全計画を策定する。
	②	委託業者・購買先・導入システムの見直し	(短期)既存の業者の見直しを行う。 (長期)コスト管理の最善化と管理業務のシステム化、省力化、自動化を図る。
	③	受託事業(和泉みどりの里)生活協力員業務のサービス向上	(通期)入居者の安心・安全な生活を支援していく。
人材確保	①	新卒学生・中途採用職員の目標数確保	(短期)来年度確保すべき新卒学生数を明らかにし採用活動を実施する。 (長期)新卒学生に法人のことを知ってもらうために法人パンフレットをリニューアルする。
	②	キャリアパス運用に関する検討と準備をする	(短期)コンサルタントも交えた賃金見直し会議を毎月実施。 (長期)平成28年4月より本格運用が始まる新給与制度、キャリアパス制度、人事考課制度、目標管理制度の準備をする。

法人事務局(地域福祉推進担当)

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	地域からの信頼の確保	「地域福祉推進室」「SOS」ボランティアコーディネーター」の存続可否によって失った地域からの信頼を取り戻す。「新生地域福祉推進係」の活動について12月に地域からの要望と信頼度についての意識調査を実施。活動を評価し、翌年度事業計画に活かす。
	②	情報の発信	広報意識改革、事業所広報力の強化、ホームページ、広報紙、パブリシティ、イベント、ロコミのフル活用。
	③	寄付・協力者の確保	地域貢献事業に対する寄付・協力者を増やす。
地域貢献	①	上記「健全経営」の①②③と同じ	

利用者サービスの質の向上	①	SOS 利用者の満足度把握	活動に携わる中からの意見聴取、懇談会の開催、評価
	②	ボランティアの満足度把握	活動に携わる中からの意見聴取、懇談会の開催、評価
	③	地域福祉推進事業の進捗状況把握	活動に携わる中からの意見聴取、懇談会の開催、評価
	④	広報効果の把握	ホームページやメールを活用しての意識調査の実施
人材確保	①	実習生受入態勢整備プロジェクト・実習生ホームカミングデイ	学校との関係を密にして、法人職員の確保を目指す
	②	地域ソーシャルワーカー養成	後進職員の育成
	③	協力者・ボランティアの育成	地域人材の発掘・育成